

---

## 秋吉台パークボランティア 第60号 3-15、2011

---

秋吉台パークボランティアの会 会長 木島忠興  
事務局 美祢市秋芳町秋吉広谷 カルスト学楽舎  
Tel. 0837-62-0400、 FAX. 0837-62-0400

---

新年のついで、本年度の活動が議論されました。

今年最初の集いは、雪の積もった秋吉台でした。雪の原は風が強く、歩くと雪の小さな塊が風に吹かれて、奇妙な「雪まくり」が出来ました。結構おもしろがって、雪を蹴飛ばして遊びました。それにしても、今年が寒い冬ですね。

当日、作業は出来ませんので、水炊きナベを囲んでの話し合いが始まりました。

話題は、平成 23 年度は何に重点を置いて活動するかという問題でした。

第 1 に、私たちが 10 年続けてきた歩道の修復を、科学的なデータをきちんと取りながら、記録を残すことでしょうか。楽しく事業を続けてゆくことでしょうか。

第 2 に、人が秋吉台を利用した痕跡を文化財として保存する活動も重要だという話も出ました。

第 3 に、残丘に名前を記した石版を置き、ウォーキング客に楽しんでいただくという話も出ました。人のために、前に向かって進む話はとても楽しいものです。見えない未来が、私たちの頭の中で見え始め、わくわくします。

やっぱり話し合いはすばらしいと思いました。これらの案を積極的に進めてゆきたいものですね。

(木島忠興)

秋芳南中学校 2 年生が秋芳洞で立志の集いをしました。

洞窟は神の住む世界です。この洞窟の奥に出掛けて、神の前で、自分の人生の歩み方の誓いを立てることは意味のあることです。2 月 4 日に秋芳南中学校 2 年生が現代風に「立志の集い」をしました。結構楽しい会でした。

秋芳洞は彼らにとって「ふるさとの宝物」です。この洞窟をじっくり探検をして、その価値を深く知ることは大切なことです。生徒たちは勇気を出して闇の洞窟に立ち向かいました。秋芳洞がとんでもない巨大な洞窟であることが良く理解できたと思います。生涯忘れることの出来ない楽しい思い出になったことでしょうか。

中学生の洞窟での誓いの言葉がふるさとの記憶になって長く心にとどまるといいですね。私もこの思い出を楽しんでいます。



琴が淵で 中学生は・・・

(当日の案内人 庫本 正)

## 秋吉台文化財の保存（2）

### 褐鉄鉱採掘に係わる諸設備

以前から、帰り水に行くと、コンクリート製の小さなダムがあり、なぜこんな物があるんだろうと不思議でした。よく調べてみると、ダムの横にはコンクリート製の塔のような物があり、その先にはコンクリート製の水貯め、さらにその先にはターミナルのような構造物もありました。そしてその先には斜面に沿った道があり、それをたどると、残丘の斜面を切り取った褐鉄鉱の採掘場にたどり着きました。この一連の諸施設こそ、褐鉄鉱採掘に係わる遺構でした。

整理すると、次のような遺構が残されています。

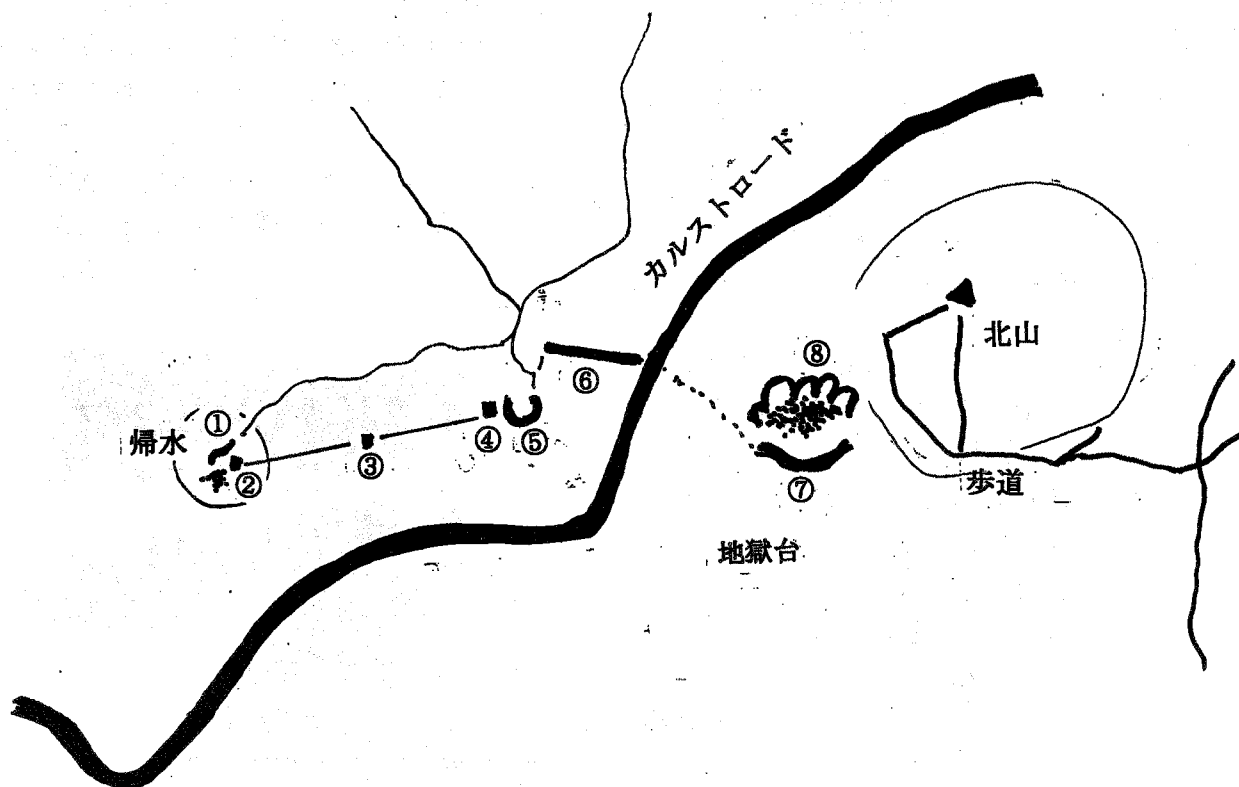
- 1) 帰り水の水路につくった水貯め
- 2) 水路の横にある石組み
- 3) 斜面の水貯め
- 4) 半円形の駅と水溜

- 5) ここからの運搬路
- 6) 斜面の道
- 7) 鉱物の集積場
- 8) 採掘現場

秋吉台の歴史をいろいろの遺構は文化財だろうか、それともゴミや秋吉台の傷なのだろうか。もしこれが文化財なら保存しなければなりません。ゴミなら取り除いて自然に返さなければなりません。

実は、これは戦争中に行われた鉱物採掘事業だったのではないかと云われています。皆さんで、じっくり考えたいかがでしょう。そのためには皆さんと一緒に見学に行きましょう。そしてこれをテーマにしたエコツアーをやってみましょう。

私たちの宝の山をどの様にして保護すべきか、しっかり考えましょう。



---

## 秋吉台パークボランティアの会 平成 23 年度のエコツアー

---

平成 23 年度のエコツアーの実施予定が決まりました。

- 1) 4月10日(日) 秋吉台の「地獄台巡り」 カルスト地形の面白さ。
- 2) 5月15日(日) 秋吉台八景を探る  
(2) 香合 窪地の底に湧き出す地下水。 出来水、香合、蓮華山。
- 3) 6月5日(日) カキツバタと木喰像  
大正洞、二反田、北河内。
- 4) 7月24日(日) 桂木山の桂(巨木)と鍋石の甌穴  
嘉万・日峰・桂木山・青景。
- 5) 9月25日(日) 白水の池、弁天池、兼清穴探検 別府江良。
- 6) 10月16日(日) カルストの森と化石観察 大久保ウバーレを歩く  
秋吉台の南麓、大久保、広谷。
- 7) 11月13日(日) 江原ヒキの森(もりさま)と赤谷山(あかんたやま)  
別府江原。
- 8) 12月4日(日) 秋芳洞観光のまち-広谷ポリエーを歩く 100年にわたる観光を支えたまちの観光遺産めぐり  
広谷。

以上 8 回です。協力をお願いします。

---

## 鳥 取 鳥 . . .

木島忠興

---

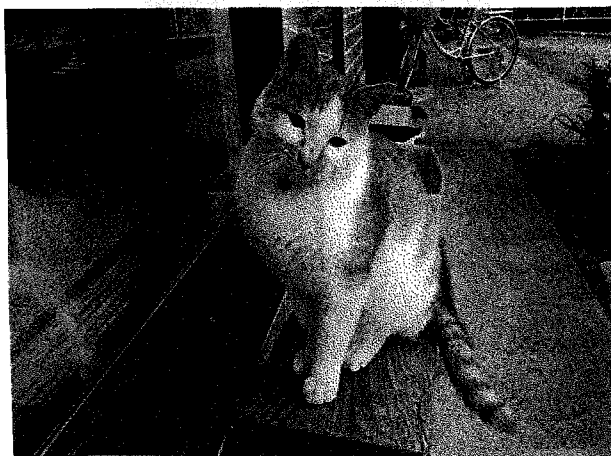
今年の冬は寒さが厳しく、雪も多く、動物も植物も、生きずらかったろう。木の枝は折れ曲がり、草も押しつけられていた。

我が家のネコはこの冬、アオバト 5 羽、キジバト 2 羽、ヒヨドリ 2 羽を捕まえてきた。ネコは小さいジョウビタキを食べたが、ほとんどの鳥は放置している。納屋の中まで餌を獲るカラスが不思議と家の軒下にある鳥は取ってゆかない。庭の中程に放置しておく、そのうちに跡形もなくなる。カラスの注意深さのせいだろうか、不思議である。

畑に行くと、小松菜や人参の葉は鳥の食害で葉がかなりなくなっていた。雪が何度も野菜を覆っていたが、鳥は人参まで手を出したのでしょうか。

子供の頃山を歩くと、美しい緑色の羽がかたまって小道を覆っていたのを思い出した。どうしてこんな所と思ったが、猛禽類に襲われたのだろう。自然の厳しい掟が生物界を支配していた。

こんな鳥たちにとっては大変な冬だから、せつかく美しい花を春には見せてくれそうだった庭の梅の蕾をヒヨドリが食べても我慢しましょう。



## 石の花

庫本 正

子供の時、「石の花」というロシアの映画を見た。この映画はロシアの民話に基づいた美しいカラー作品だった。おじいさんと孫が山のなかで伝説の洞窟に紛れ込み、美しい石の花の世界を体験するという話だった。

私は子供たちに洞窟を案内するとき、あの石の花を見せたいと思った。洞窟には、「石花(アンソナイト)」と言う洞窟成生物がある。また、みごとな鉱物の結晶だって存在する。これらは科学で解明された石の花だ。

これに対して、私たちの幻想の世界で創造する石の花だってあるだろう。絵本や空想物語(ファンタジー)で描かれる石の花だ。ロシア映画の石の花はこちらの作品だった。チャーチが描いた「地下洞窟の冒険」にも、石の花が出てきた。

私は洞窟で知り得た石の花を整理し、地球上にある花を一つ一つ思い出し、描いてやろうと考えた。最近「醜い花」と言う本を読んだ。花にも様々な花がある。ここに描いた絵は私の頭の中で生まれた不思議な花だ。皆さんも、是非石の花を描いてください。



石の花

## 3, 4月の作業・行事

### 3月4日(金) 秋吉台塾

時刻：18時～20時

場所：秋吉台科学博物館 講座室

演題：秋吉石灰岩の成因

講師：北九州大学講師 長井孝一先生

### 3月12日(日) 歩道修復

9時 カルスト学楽舎に集合

### 3月19日(土) 秋吉台をあるく

9時 カルスト学楽舎に集合

### 4月3日(日) 歩道修復

9時 カルスト学楽舎に集合

### 4月10日(日) エコツアー [地獄台]

9時50分 長者が森駐車場に集合

地獄台、烏帽子岳、桐が台を歩きます。

### 4月24日(日) 歩道修復

9時：カルスト学楽舎に集合。



### 子狐に出会いました

秋吉台で 小さな子狐が長いしっぽを水平に延ばして、よろよろ歩いているのに出会いました。直感的にキツネ・・・と感知し、ヤブの中に消えるのを見届けました。野生のキツネらしくなく、体の毛が貧弱で、何となく弱々しく思えました。

長生きしてくれるといいなあとおぼやきました。